

第1回 初級ファシリテータ養成講座

○開催概要

- 日時：2018年9月4日（火）12：30～16：30（台風接近の日）
 - 場所：東京都市大学 渋谷サテライトクラス（定員20名）
 - 出席者：17名（民間会社：8名、NPO：4名、大学：4名、国交省：1名）
 - 講師：世古一穂（NPO研修・情報センター代表理事、元金沢大学大学院教授）
 - 形式：ワークショップ形式（3グループ）
 - 趣旨：インフラメンテナンスに関わる協働の核となるファシリテータの養成
- ※第2回 初級ファシリテータ養成講座は 11月2日（金）に開催予定

内容

- 先ずアイスブレイキングにより初対面の緊張をほぐし、グループ編成を行った。
- 世古講師から、「参加のデザイン」「協働コーディネーター・ファシリテーター」「市民参加の8つのはしご」などについて具体的な説明を受けた。
- 市民参加の形態として、「形としての市民参加」が多く、「市民の力が活かされる市民参加」までは至っていないという現状を理解した。
- グループワークの最初のテーマは「Wish Poem」。インフラメンテナンスの望ましいイメージについて、各メンバーが1行の詩を作成し、次にチームごとに各メンバーの詩を繋ぎ合せて一つの詩を完成させた。作業を通じてメンバー間で、課題の抽出、数回の合意形成、情報共有を行うことができた。
- 二番目のテーマでは、ワークショップやファシリテーターに関する疑問点をチームごとにまとめた。写真のように、3階層程度に構造化することがポイントである。構造化の作業を通じて他のメンバーの考えを理解し合意することができ、チームの考えをワークシートにわかりやすく表現することができた。

効果

ワークショップの進め方やファシリテータの役割について、基本を理解した。

